

知って なるほど!

三重県立総合医療センター



中央放射線部・
内視鏡に関連した資格を
持っています

インターベンションエキスパートナース／消化器内視鏡技師

当院では2名の看護師がインターベンションエキスパートナースの認定を受けています。インターベンションナースは、血管造影やカテーテルを用いた高度な血管内治療において、患者さんの状態観察や薬剤投与などを行います。血管内治療における看護のエキスパートとして、患者さんの安全と安楽な治療環境をサポートしています。

また、12名の看護師が消化器内視鏡技師の認定を受けています。内視鏡治療や検査において、患者さんの状態を的確に判断しながら、迅速かつ確かなケアを提供します。この資格は内視鏡に対する専門的な知識や技能を証明するものです。

これらの資格を持つ看護師は患者さんの不安を和らげるため、説明やサポートにも力を入れており、安心して治療を受けていただけるよう、丁寧なサービスの提供に努めています。



マイナンバーカードの健康保険証(マイナ保険証)をご利用ください

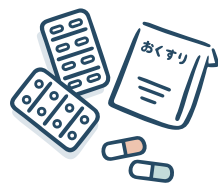
令和6年12月2日に健康保険証の新規発行が終了し、マイナンバーカードを健康保険証を利用するための「顔認証付きカードリーダー」が設置されていますので、ぜひご利用ください。



マイナンバーカードの健康保険証利用には次のメリットが得られます。

メリット1

受付時にお薬の履歴や過去の特定健診の情報等の提供に同意すると、ご自身の情報に基づいた診断や重複する投薬を回避した適切な処方を受けることができます。



メリット2

マイナンバーカードを保険証として利用する際に、申請に必要な情報を提供することに同意すれば、限度額適用認定証がなくても限度額を超える支払いが免除されます。



三重県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 救命救急、高度医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 県の基幹病院として、医療の安全と質を高め、次代を担う優れた医療人材の育成に貢献します。
- 県内の医療機関等との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

臨床研修基本理念・基本方針

臨床研修基本理念

「人の痛みがわかり、相手の立場で考えられる」など医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学や医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、日常診療で頻繁に関わる病気や病態に適切に対応できるよう、医師としての基本的な診療能力(態度、技能、知識)を身につける。

臨床研修基本方針

- 患者及び家族とのコミュニケーション能力を習得し、医師としての人格を涵養する。
- 全人的医療を実践することができるプライマリ・ケアの基本的診療能力を習得する。
- チーム医療の一員としての役割を理解し、協調性をもってチーム医療を実践する。
- 医療安全を理解し、安全な医療を遂行する能力を身につける。
- 医療人としての倫理観を養成する。

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター広報紙編集委員会 令和7年8月／発行号

所在地／〒510-8561 三重県四日市市大字日永5450-132

電話／059-345-2321(代表) FAX／059-347-3500 メール／sogohos@mie-gmc.jp

MEDICAL CENTER NEWS

医療センターニュース

vol.102 2025 Summer

TAKE
FREE
ご自由
にお持ちください

耳鼻いんこう科 新体制に



耳鼻いんこう科 インタビュー

高度な手術も可能に
治療の要望に幅広く対応

topics

- 和痛分娩4
- ロボット支援下胃切除術5
- 早期乳がんRFA5
- インフォメーション6
- 外来診療医師担当表7

地方独立行政法人 三重県立総合医療センター
Mie Prefectural General Medical Center



高度な手術も可能に、治療の要望に幅広く対応

耳鼻いんこう科 新体制に

三重県立総合医療センターは、地域の医療の要望に応えるために、診療科の体制強化や改善に取り組んでいます。今回は、4月から医師が2人体制になって、入院を伴う難しい手術にも対応できるようになった耳鼻いんこう科を紹介します。においをかいだり、音を聴いたり、私たちにとても身近な感覚の不安に寄り添う、この科ならではの特色を耳鼻いんこう科長の森下裕之医師に聞きました。

医師2人体制で入院治療・手術も可能に

耳鼻いんこう科は2025年4月、これまで医師1人だった診療体制を2人に増やした。14年の経験を持ち、なかでも、難度の高い鼻の手術を得意とする森下裕之医師と、4年目の吉村康平医師が担当している。

「医師が2人になったことで、入院が必要な全身麻酔下での手術を実施できるようになりました。6月は週2回以上の手術をしており、月換算では10回ほどになります。これを、週3～4回にまで増やしたいと考えています」。森下医師が語る当面の目標だ。

「耳鼻いんこう科の診療に関係する医療機関から、『三重県の北勢地域において、耳鼻いんこう科の手術が出来る病院は限られており、

患者さんの需要に十分応えられていない状況がある』という意見を頂きました。そこで、当医療センターで耳鼻いんこう科の診療体制を整えるために、私と吉村医師の2人が着任することになりました。地域の診療所の医師のみなさんにも歓迎していただいています」

様々な症状に対応、どんな手術が可能か

耳鼻いんこう科は耳、鼻、のど(咽喉頭)、頸部の病気を扱っており、耳なら難聴や中耳炎、めまいなどの疾患、鼻ならアレルギー性鼻炎や鼻副鼻腔炎(蓄膿症)、嗅覚障害などを診察する。のどや頸部では、扁桃腺の炎症、睡眠時無呼吸、甲状腺疾患などがある。それぞれ、高性能な超音波検査やMRI(磁気共鳴画像法)などを使った専門的な検査ができ、症例に応じた

手術や早期の咽喉頭がんでは放射線治療も行う。手術で一般的なのは扁桃腺(口蓋扁桃)に関するもので、習慣性扁桃炎に対する扁桃摘出術が最も多く、睡眠時無呼吸では扁桃摘出や、鼻の奥にある扁桃組織であるアデノイドを切除する手術も併せて行う場合がある。首の前方、喉仏のすぐ下にあり、全身の代謝を調整している甲状腺の症例も耳鼻いんこう科の診療で扱うものとしては一般的で、検査だけでなく、甲状腺腫瘍や初期の甲状腺がんでは摘出手術にも対応している。

鼻の診療は森下医師の専門領域

なかでも、森下医師は鼻の診療が専門で、アレルギー性鼻炎、鼻副鼻腔炎、鼻出血症、嗅覚・味覚障害などの疾患への投薬や検査などに加え、難病にも指定されている好酸球性鼻副鼻腔炎についても症例に合わせ、手術や生物学的製剤を含めた包括的な治療ができる。

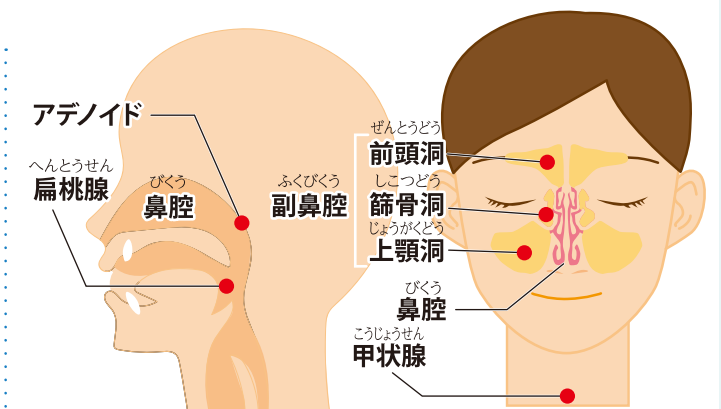
好酸球性鼻副鼻腔炎は、両側の鼻の中に多発性の鼻茸(キノコのような形のポリープ)ができ、手術してもすぐに再発することが多いとされる難病だ。ただ、においの低下や異常といった嗅覚障害によって早く発見し、治療によるコントロールをすれば、対処できるものでもあるという。

耳鼻いんこう科で扱う症例の多くには内視鏡が用いられており、検査にも手術にも、非常に口径の小さい繊細な機器類が使用される。森下医師が手術を施した経験のある鼻副鼻腔炎



森下裕之医師

吉村康平医師



の手術では、専門的に分類されたI～V型のうち、最も難度が高いV型も含まれている。

鼻の奥の副鼻腔は、顔の裏側の骨の間に広がっている空間だが、V型ともなると、眉毛あたりの額の裏側になる前頭洞の炎症に対する手術(拡大前頭洞手術)のほか、脳の底を支え、神経や血管が複雑に絡み合っている頭蓋底の周囲の病変や、眼球(めだま)とそれに関連する器官が入っている頭蓋骨のくぼみ部分にあたる眼窩内の炎症にも対応する手術が求められる。内視鏡を使つてのこれらの手術は難度が高く、全国でも施術できる医師は限られるという。

「今は、知識が豊富で積極性もあって頼れる吉村医師とともに、ここでの治療に全力であたっています。将来、鼻以外の専門性をもつ医師が来ることがあれば、さらに手術を充実させたいと思います」

五感を扱う耳鼻いんこう科、他科とも連携

「耳鼻いんこう科は、人間の五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)に関わる感覚器を扱う診療科です」と森下医師は話す。

視覚の専門は眼科ではあるが、鼻副鼻腔疾患の中には視覚に障害を及ぼすものもあり、人間の頭部の複雑な構造の中で深く関わっている。それぞれの大事な感覚に影響する病気や症状を扱っているという意味で、耳鼻いんこう科は私たちの生活になくてはならない診療科だといえる。

耳鼻いんこう科の診察室は1階の北側の奥にある。森下医師と吉村医師、看護師、外来スタッフとでチームをつくり、日によっては夕方遅くまで患者さんを迎えている。

森下医師は北勢地域の医療機関で診療を行う父親の背中を見て育ち、自然に医師をめざすようになった。三重大学医学部附属病院などで医師としての研鑽^{けんさん}を積んだ。

新型コロナウイルス(COVID-19)が猛威をふるっていたころ、多くの人が後遺症で嗅覚や味覚に障害を訴えたことは記憶に新しい。

かぜ(感冒)^{かんぼう}のあとで起こる感冒後嗅覚障害は、ウイルスが鼻の粘膜に障害を起こして異常をもたらす。新型コロナウイルスよりも前からあった従来のコロナウイルスもこの症状を起こしやすかったという。それは新型コロナウイルスでも考えられることで、後遺症の解決に向けた治療では、耳鼻いんこう科の医師たちの経験に



超音波検査装置を使う森下医師▲

基づく知見が役に立つことになった。

「耳鼻いんこう科の診療領域は限られているように思われがちですが、実はいろんな専門科と連携して病気に対処できることが多いのです。目や視覚に関することであれば眼科、咽頭がんや食道がんは合併しやすく消化器外科、がん治療であれば放射線科とも連携しますし、手術を行う上では麻酔科に最もご助力頂いています。多くの疾患を医療センター内の他の診療科と一緒に対処し、診療の拡充に力を入れたいと思います」

「和痛分娩」始めました！～“痛みに優しい”お産、はじめの一步～

「無痛」ではないの？

当院では「和痛分娩(わつうぶんべん)」を導入しました。完全に「無痛」にはできませんが、「痛みをできるだけ和らげる」ことはできます。当院では、硬膜外麻酔^{こうまくがい}という方法を使って、できるだけ「怖くない」「つらくない」お産を目指します。

和痛分娩は、計画分娩で行いますので、「急に陣痛が来てドキドキ」というよりは、「今週末あたりに赤ちゃん来ますよ～」という、ちょっとスケジュール感のある出産になります。

メリット・デメリット

いいこともたくさんあります。例えば、痛みが軽くなることでお産が怖くなくなったり、体力を温存できたり、出産後の回復がスムーズだったり。でも、魔法ではありません。麻酔の影響で分娩の進行がゆっくりになったり、まれに副作用が出ることも。タイミングによっては「今は麻酔できません…」ということもあります。



「安全第一」と「SDGs」

お母さんの希望になるべく応えながらも「安全な出産」を一番大事に考えています。“母親にも医療者にもやさしい医療”を目指し、医療スタッフが無理なく働ける体制を作り、SDGsにも配慮していきます。そういった理由から和痛分娩は計画分娩になります。直前に「今からできますか?」は難しい場合がありますので、和痛分娩を希望される方は、早めにかかりつけ医、または直接当院産婦人科にご相談ください。

和痛分娩が、母親の心と体に“やさしい記憶”を残すお手伝いになれば嬉しいです。外来でお気軽にご相談を！これからも三重県の周産期医療のために頑張りますので、よろしくお願いします。

ロボット支援下胃切除術が 当院で実施可能となりました

2025年4月1日より、当院で「胃がんに対するロボット支援下手術」が保険適用内で実施可能になりました。

当院は2019年5月より手術支援ロボットを導入し、体の負担が少ない手術の推進に取り組んでいます。ロボット支援下手術は、開腹手術と比べて傷が小さく、体への負担が少ないという特徴があります。またロボット支援により手振れが防止され、自在に曲がる器具で緻密な操作が可能です。

医師、看護師、臨床工学技士やその他関係職種のスタッフがこれまでの経験と知識を活かし、患者様に安心してロボット支援下手術を受けていただけるよう努めてまいります。



▲ロボット支援下手術

開腹・開胸手術

両目で3D視



腹腔鏡・胸腔鏡手術

モニターで2D視



ロボット支援下手術

ステレオビューワで3D視



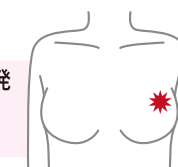
早期乳がんを切らずに治療することが できるようになります

2025年9月より当院の乳腺外科にて、早期乳がんに対するラジオ波焼灼療法^{ラジオ}(radiofrequency ablation: RFA)を開始いたします。これまで乳がんは手術による切除が必要でしたが、2023年12月よりラジオ波焼灼療法が保険適用となり、この度、当院でも施術認定を受け実施できるようになりました。

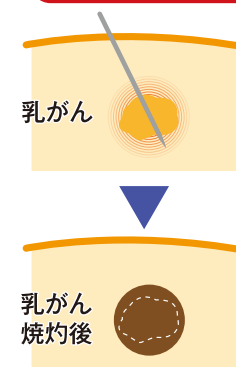
ラジオ波焼灼療法は患部に特殊な針を刺し、針から発生するラジオ波により、がんとその周辺の組織を約70℃まで加熱し、死滅させるという治療法です。他の手術と比べて乳房に大きな傷跡は残りませんが、皮膚の熱傷や焼灼不全など、手術とは異なる合併症の可能性があります。

乳がんの治療は日々進歩し、当院でも新しい治療が行えるよう努めております。当院の乳腺外科ではラジオ波焼灼療法だけでなく、乳房温存術や乳房切除時の乳房再建など、個々の患者さんの症状や希望に応じて最善の治療をご提供できるよう心がけています。乳がんの治療法について、メリットやデメリットなど聞きたい場合は、気軽にご相談ください。

しこりが1.5cm以下の単発
転移がない
ステージ1



ラジオ波焼灼療法(RFA)



がんの中に細い針状の電極を刺し、ラジオ波の電流を流し発生する熱でがんを凝固・焼灼し死滅させる

※当院は、他医療機関等の紹介状を持たずに直接来院して受診される場合、初診時選定療養費として診療費とは別に7,700円(税込)の料金をご負担頂いております。受診を希望される場合、近隣の診療所や、かかりつけの医療機関にご相談のうえ、紹介状をご持参頂きますようお願いいたします。

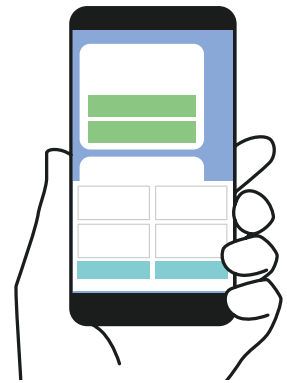


NEWS LINEを活用した入院案内を導入しました

当院で、8月1日より入院準備や持ち物についてのご案内を、LINEでお知らせするサービスを開始しました。資料や動画でわかりやすく確認することができます。

- ✓登録日から期間限定で病院とつながります
- ✓LINEアカウント名は病院に通知されません
- ✓登録した氏名等の個人情報はLINEトーク上に残りません
- ✓広告などの配信はありません

登録方法は患者支援センターにて、入院の説明時にお伝えします。入院予定日を登録すると利用開始となります。入院の際にはぜひご利用ください。



NEWS 病院機能評価の更新審査を受審しました



当院では、継続的に病院機能及び医療の質の向上を図るため、外部(第三者)機関からの評価を受けています。

2004年より受審している日本病院機能評価機構の「病院機能評価」にて、5回目の更新審査を受審し、2025年6月に5回目の認定を頂きました。

患者の皆様の信頼と期待に応えられる病院を目指し、取り組んでまいります。



NEWS 生活習慣病教室を開催しました

令和7年7月17日(木)、救命救急センター副センター長の富田医師、クリティカルケア認定看護師の高橋看護師による「熱中症」について生活習慣病教室を開催しました。

熱中症の対策、予防について解説を行いました。多くの地域住民の方に来ていただきました。

当院では、生活習慣病教室を定期的に行っています。事前申込・参加費は不要です。お気軽にご参加ください。



次の生活習慣病教室

- 日時 令和7年10月16日(木) 14:00～
- 場所 三重県立総合医療センター 7階講堂
- 講師 呼吸器内科医長 藤原医師
- 演題 ご存じですか? COPD
～たばこで起こるこわい肺の病気～

※COPDとは?
慢性閉塞性肺疾患のことで、たばこの煙、大気汚染、職業上の粉塵や化学物質などの有害物質が原因で肺が炎症を起こし、呼吸がしにくくなる病気です。



※8月1日現在、完全休診の予定はありません

都合により変更させていただく場合がありますので、最新の情報はWEBサイト、電話・メールにてご確認ください

電話／059-345-2321(代表) メール／sogohos@mie-gmc.jp

WEBサイト▶



外来診療医師担当表

令和7年8月1日現在 最新の勤務表はこちら

診療科	曜日	月 曜	火 曜	水 曜	木 曜	金 曜				
総合内科初診	1診	池田	1診	小林	1診	西田	1診	大須賀	1診	後藤
総合内科	2診	感染症内科 白木	2診	血液内科 和田	2診	白木	2診	消化器内科(再診)白木	2診	循環器内科(再診)山田
消化器内科	3診	森谷	3診	井上	3診	山中(第1-3-5)/水谷(第2-4)	3診	西浦	3診	中澤(第1-3-5)/小林(第2-4)
	4診	井上	4診	森谷	4診	小林(午前)	4診	山中	4診	西浦
消化器内科・循環器内科	5診	糖尿病外来 住田	5診	水谷	5診	腎臓内科 村田	5診	菅	5診	腫瘍内科 齋藤
循環器内科初診	6診	増田	6診	加藤	6診	増田	6診	林	6診	谷垣内
消化器内科・循環器内科	7診	加藤	7診	中澤	7診	谷垣内	7診	中嶋	7診	増田
ペースメーカー外来	-	-	-	-	-	-	-	-	2週・4週	担当医

※消化器内科水曜日の3診、消化器内科金曜日の3診、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

呼吸器センター	初診	1診	藤原	1診	吉田	1診	後藤	1診	三木	1診	児玉
	再診	-	-	-	-	2診	増田	-	-	2診(午前)	辻
	再診	3診	後藤	3診	三木	3診	児玉	3診	吉田	3診	藤原

※緩和ケア外来希望の方は金曜日9時～11時(完全予約制)

消化器・一般外科	1診	横江	1診(午前)	北嶋	1診	尾嶋	1診	毛利	1診(午前)	担当医
	2診	尾嶋	-	-	2診	山本	2診(午前)	森本	-	-
	3診(午前)	毛利	-	-	3診(午前)	横江	-	-	-	-

小児外科	-	-	2診	内田	-	-	2診	内田(14時～)	-	-
------	---	---	----	----	---	---	----	----------	---	---

乳腺外科	-	-	1診(午後)	小島	-	-	3診(午前)	山下	2診	東
	3診(午後)	乳腺外来 東	3診	山下	3診(15時～)	乳腺外来	3診(午後)	乳腺外来 小島	3診(午前)	乳腺外来
			-	-	-	-	(午前)		-	-

※乳腺外来は完全予約制です。

形成外科(完全予約制)	-	-	-	-	第1週(9時～11時半) 第2週～第5週(13時半～15時半)	橋本	-	-	-	-
-------------	---	---	---	---	------------------------------------	----	---	---	---	---

心血管外科／呼吸器外科	1診	近藤	1診	新保	1診	井上	1診	-	1診	井上
	2診	庄村	2診	鈴木	-	-	2診	-	午後予約制	田中

脳神経外科	1診	田中	1診	黒田	1診	寺島	予約のみ	担当医	1診	佐野
	2診	亀井	午前予約制	脳血管外来(佐野)※	-	-	-	-	2診	亀井
	-	-	-	-	-	-	-	-	午後予約制	脊椎脊髄外来

※脳神経外科第2週・第4週火曜日9時～11時(完全予約制)

脳神経内科	1診	伊藤	1診	伊藤	1診	掃部(第1-3-5)/伊藤(第2-4)	1診	河野(第1-3-5)/萩原(第2-4)	1診	掃部
	2診	河野	2診	掃部	2診	西垣	2診	萩原(第1-3-5)/河野(第2-4)	2診	伊藤

※水曜日の1診、木曜日の1診、2診は、第1週・第3週・第5週と第2週、第4週で担当が代わります。

小児科	1診	杉山	1診	西森	予約のみ	太田	1診	太田	1診	杉山
	2診	西森	2診	太田	予約のみ	杉山	2診	西森	2診	鈴木
	3診	太田	3診	荻野	予約のみ	大森／山口	3診	中村	3診	林
	予約診	山口	-	-	紹介のみ	西森	-	-	予約診	山口

産婦人科	1診	前川(第1-4)/田中(第5)(初診)	1診	杉本(初診)	1診	河村(初診)	1診	竹内(初診)	1診	小村(初診)
	2診	杉本	2診	朝倉	2診	竹内	2診(午前)	田中	2診	河村
	-	-	-	-	-	-	2診(午後)	1ヶ月健診	-	-
	3診(午前)	南(第1-3-4-5)/田中(第2)	3診	小村	3診	前川	3診	たんぼ(助産師)外来	3診	朝倉
	3診(午後)	母体胎児診断(第1-3-4-5)/田中(第2)	-	-	-	-	-	-	-	-
	4診	たんぼ(助産師)外来	-	-	-	-	4診	リンパ浮腫ケア外来(完全予約制)	-	-

※月曜日の1診、3診は、第1週～第5週で担当が代わります。

整形外科	1診(午前)	膝関節外来 北尾(紹介)	1診(午前)	北尾(再診)	1診(午前)	服部徹也(紹介・初診・股)	1診(午前)	奥山(再診)	1診(午前)	奥山(紹介・初診)
	1診(午後)	-	1診(午後)	北尾(再診)	-	-	1診(午後)	奥山(再診)	1診(午後)	-
	2診(午前)	柿本(紹介・初診・膝)	2診(午前)	服部佳生(紹介・初診)	-	-	2診(午前)	中山(紹介・初診)	-	-
	2診(午後)	-	2診(午後)	服部佳生(再診)	-	-	2診(午後)	中山(再診)	-	-
	3診(午前)	服部徹也(リハ、再診)	3診(午前)	柿本(リハ、再診)	-	-	3診(午前)	服部佳生(リハ、再診)	3診(午前)	中山(リハビリ、初診)
	3診(午後)	服部徹也(再診)	3診(午後)	柿本(再診)	-	-	-	-	-	-

皮膚科	1診(午前)	須賀	1診(午前)	加古	1診(午前)	加古	1診(午前)	杉岡	1診	加古
	1診(午後)	加古	午後	褥瘡回診	午後	手術	1診(午後)	加古	-	-

泌尿器科	1診	神田	-	-	1診	中谷	1診	松浦	1診	伊藤
	予約診	松浦	-	-	予約診	神田	-	-	予約診	中谷
	予約診	中谷	-	-	予約診	伊藤	-	-	予約診	松浦

眼科	1診	佐宗	1診	佐宗(午後休診)	1診	佐宗	1診	佐宗	1診	佐宗
----	----	----	----	----------	----	----	----	----	----	----

耳鼻いんこう科	1診	森下(初診)	-	-	1診	吉村(初診)	1診	森下(初診)	完全予約制	担当医
	2診	吉村(再診)	-	-	2診	森下(再診)	2診	吉村(再診)	-	-
	午後診	吉村(再診)	-	-	午後診	森下(再診)	午後診	FNA	-	-

精神科	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下	1診	山下
-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

放射線科	1診	南平	1診	南平／野本	1診	南平／高田	1診	南平	1診	南平
------	----	----	----	-------	----	-------	----	----	----	----